

立会の風 (校長通信) No.12 校長 滝淵 正史

道具は正しく使う

品川区では、従来のまもるっちに加えて、春からはタブレットも児童に貸与となりました。これらは、活用の目的をはっきりさせて活用すれば、本当に便利な道具なのですが、一方で、一つ使い方を間違えると、思わぬトラブルに巻き込まれたり、気付かぬうちにトラブルの当事者になったり、生活習慣に影響が出たりといった場合があることも事実です。特に、タブレットについては、学校でも、よりよい使い方を考えながら進めているという最中であり、正しい活用については、今後さらに明確にしていく必要があると考えています。



例えば、まもるっちでは、残念ながら、次のような、決して正しいとは言えない使い方の事例が届いています。

- ① 友達と、メール機能を使って遊ぶ
- ② あるボタンを操作して、想定外の画面を呼び出す
- ③ 登下校中などに、画面を見ながら歩く

タブレットでは、現時点では、次の例が特に多く寄せられています。

- ① YouTube など、インターネットサイトの閲覧時間が長くなる
- ② 安易に検索機能を使って言葉の意味を調べるなどの傾向が見られる

タブレットに関しては、多様な機能を備えた道具であり、今後、他にもいろいろと課題が出てくる可能性があると思われます(②については、まさに大人もそうですが、辞書等にあたる習慣は必要です)。

まもるっちの基本的な目的は、「児童の安全確保機能」です。それに付加して、任意に通信機能を加えることができます。通信機能は大変便利ですが、あくまでも安全確保のための道具であることが目的の第一で、あわせて、必要上、家族等との連絡手段としての活用もあります(在校時に、どうしても伝えることが生じた場合には、直接学校までご連絡ください)。また、緊急的に第三者に相談したい状況になった時に、区教委の「ハーツ」という組織につながるボタンも加わっています。

タブレットは、そもそも「学習用」として貸与されたものです。今は、本来様々な通信機能は、区教委の方で制限をかけていますが、将来的には「学習目的での活用」の上で、正しい通信機能の使い方を学びながら、便利な学習道具の一つとして活用できるようになってほしいと思っています。ですから、「暇な時間 YouTube を見て過ごす」は、やはり誤った使い方になります。

「間違った使い方ができないように機能を制限」するのではなく、目的に応じて便利に使えるようにすることが、これから先、ますますいろいろなことが便利になる世の中で生活していく子どもたちにとっては、必要なリテラシーだと思います。ぜひ、ご家庭でも話題の一つにしていただけるとありがたいです。